

## 2015 ASEAN-JAPAN 国際省エネシンポジウムの開催

ASEAN 諸国をはじめ新興国において電力消費が著しい伸びを見せている民生部門の省エネルギー対策の一環として、家電機器分野のエネルギー効率基準及びラベリング（省エネ S&L）制度の重要性が認識されています。

このような認識を背景に、経済産業省、当センター主催、ASEAN Center for Energy 協力のもと、『2015 ASEAN-JAPAN Energy Efficiency and Conservation Symposium on Standard and Labeling Policy in Asian Countries』を2015年1月30日、東京ビッグサイト（東京国際展示場）会議棟6階608会議室にて開催いたしました。

経済産業省資源エネルギー庁国際室長開会挨拶



講義風景



シンポジウム当日は、冒頭、経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー・省エネルギー一部国際室長のご挨拶をいただきました。その後の講演は、海外からはインドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムから政策担当者を、また国内からは、基準認証イノベーション技術研究組合（IS-INOTEK）、ECCJ から、計7名の講師を招き、各国の省エネ S&L 政策の現状と課題、将来計画、日本の協力等、最新の情報をご紹介いただきました。

会場からの質問に答える海外講師



講師陣との記念撮影





100名を超えるご来場者と講師陣との活発な意見交換も行われました。ご来場者からは、「2015年のASEAN経済共同体への移行初年度における各国の現状について理解を深める良い機会となった」など、多くの声が寄せられました。